

# グラフで見る関西経済 (2019年4月)

2019年4月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

## 今月の景気判断 ～関西経済は横ばい圏で推移している

項目	現状	前月
1. 景気全般	横ばい圏で推移している	—
2. 生産	弱含んでいる	—
3. 輸出	弱含んでいる	横ばい圏で推移している
4. 輸入	横ばい圏で推移している	—
5. 設備投資	増加している	—
6. 雇用	改善が一服している	—
7. 賃金	緩やかに持ち直している	—
8. 個人消費	持ち直しの動きがみられる	—
9. 住宅投資	横ばい圏で推移している	—
10. 公共投資	減少している	—

(注) シャド一部分は前月と比較して見方を変更した項目  
前月のコメントが現状と同じ場合は—と表記

### 【今月のポイント】

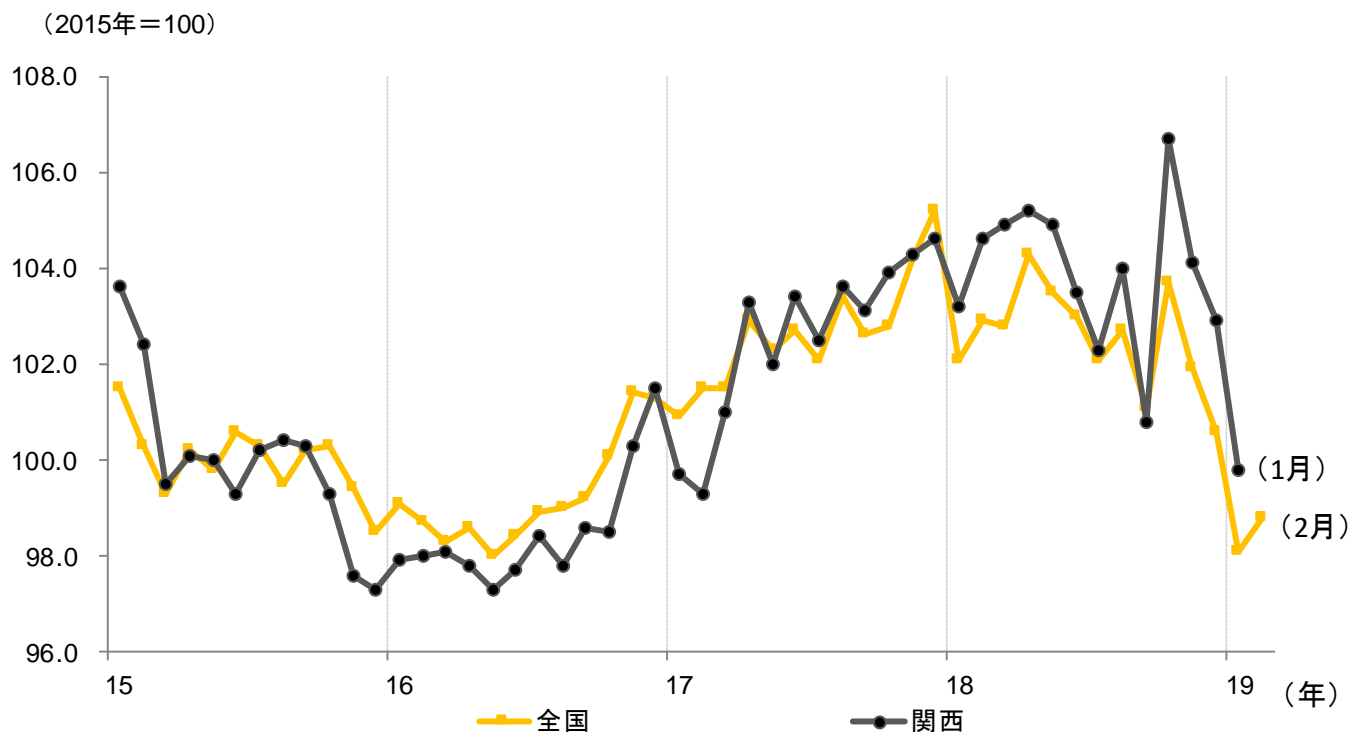
- 2月の関西の生産は、生産用機械などが増加し前月比では増加したが水準は低く、均してみると弱含んでいる。実質輸出は3月は前月比で低下し、このところ弱含んでいる。関西の企業部門は、設備投資を除き弱含んでいる。
- 関西の家計部門は、雇用、所得、消費など総じて持ち直しの動きが見られる。

# 1. 景気全般 ~横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

## ■ 景気動向指数

- 1月の関西の景気動向指数・CI一致指数は、採用7系列すべてがマイナス寄与となり、前月差-3.1ポイントの99.8と3ヶ月連続で低下した。

景気動向指数(CI一致指数)



(出所) 内閣府「景気動向指数」、大阪府「近畿地区景気動向指数の動き」

(注) 近畿景気動向指数の採用系列は、鉱工業生産、耐久消費財出荷、生産財出荷、有効求人倍率、百貨店販売額、輸入通関額、所定外労働時間(製造業)の7系列

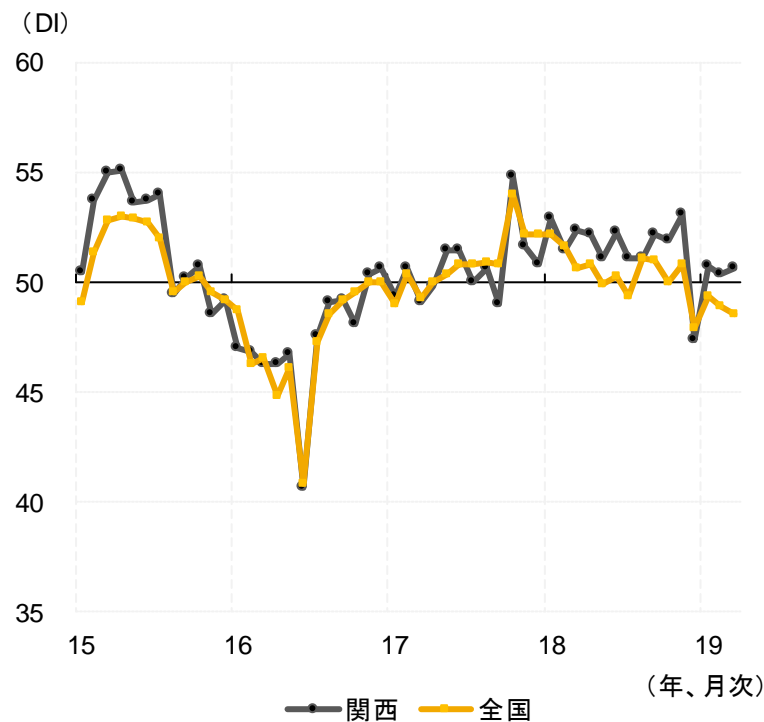
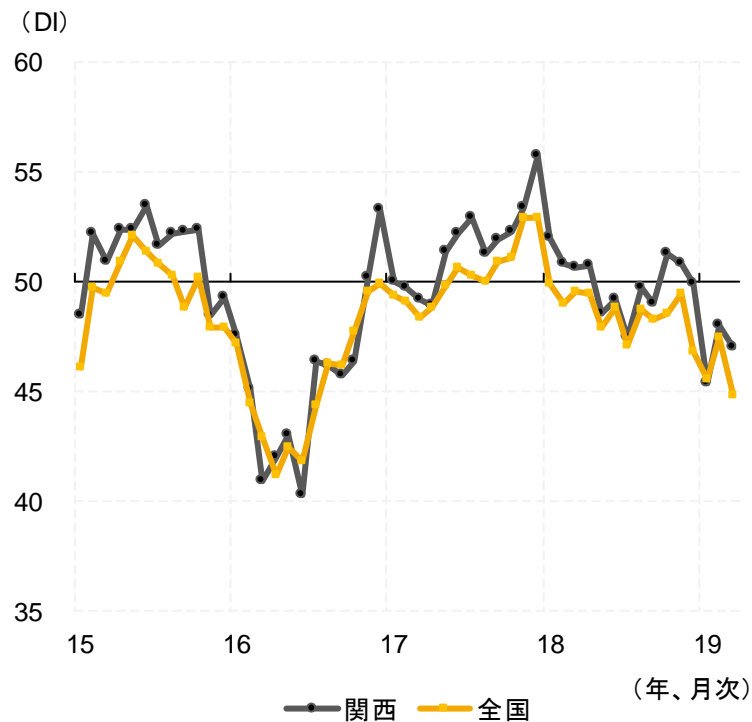
# 1. 景気全般

## ■ 景気ウォッチャー調査

- 景気ウォッチャー調査によると、3月の関西の**現状判断DI**(季節調整値)は前月差-1.0ポイントの47.0となった。インバウンドの復調などで原数値では改善しているものの3月としては弱めとなった模様である。**先行き判断DI**(季節調整値)は、同+0.2ポイントの50.6となった。海外情勢の不確実性を懸念する声がある一方、改元や消費税率引き上げ前の駆け込みへの期待がみられる。

現状判断DI

先行き判断DI



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

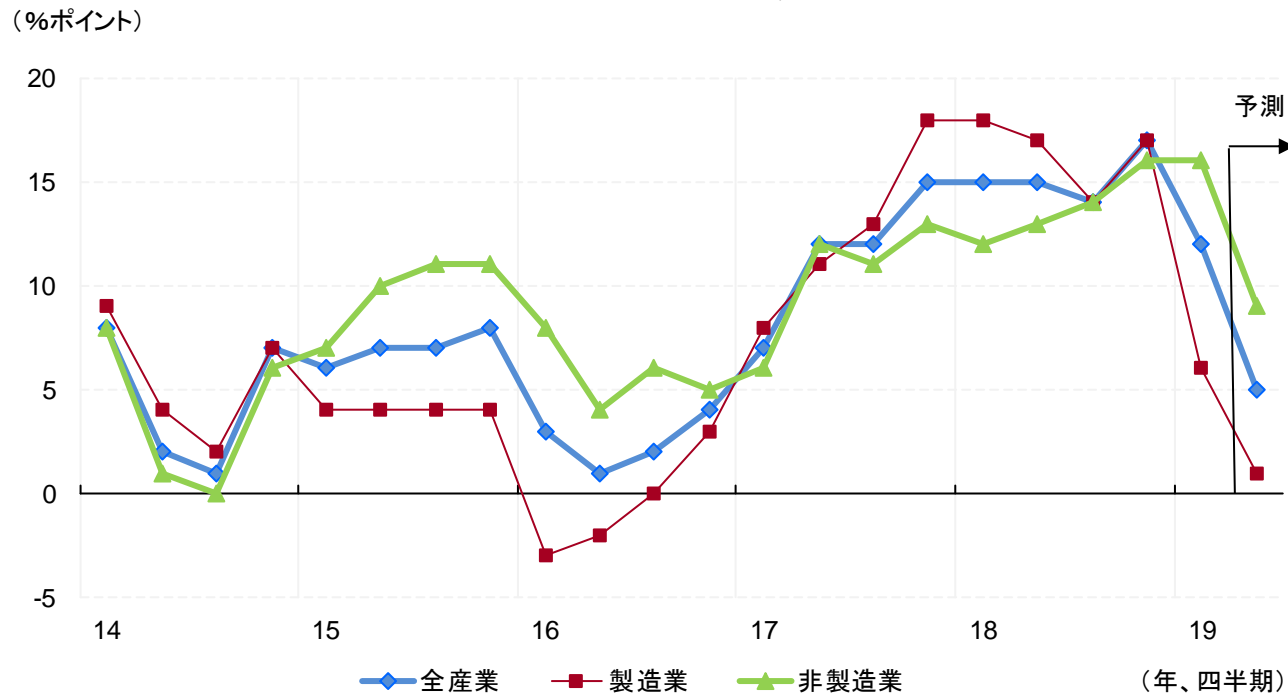
(注) DIは季節調整値

# 1. 景気全般

## ■ 日銀短観3月調査

- 関西企業の景況感について日銀短観3月調査を見ると、業況判断DIは全産業(全規模)で+12と前回12月調査より5ポイント悪化した。製造業(全規模)は+6と12月調査より11ポイント悪化、電気機械、はん用・生産用・業務用機械等が悪化した。非製造業(全規模)は+16と前回から横ばいとなった。先行きについては、全産業、製造業、非製造業ともに悪化が見込まれている。

業況判断DI(関西・全規模)



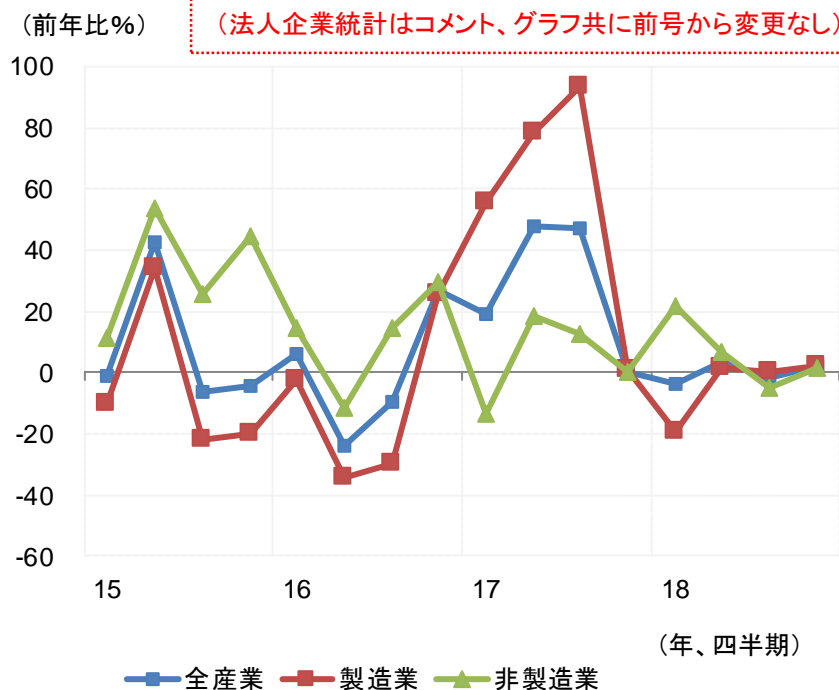
(出所) 日本銀行大阪支店「企業短期経済観測調査(近畿地区)」

# 1. 景気全般

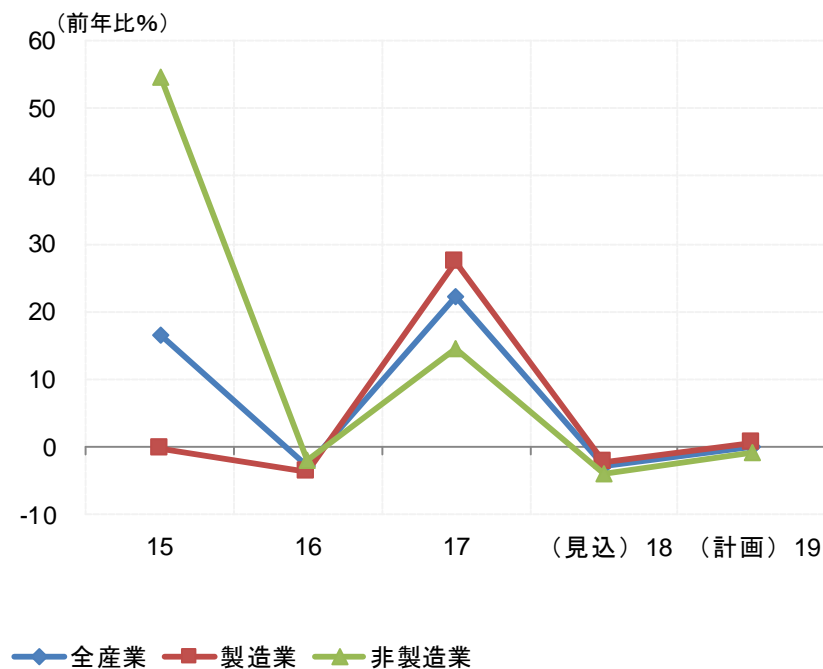
## ■ 法人企業統計調査、日銀短観

- 関西企業の収益動向について法人企業統計を見ると、2018年10～12月期の大企業の**経常利益**(全産業)は、前年比+2.2%と2四半期ぶりに増加した。製造業が同+2.4%と3四半期連続で増加、非製造業も同+1.7%と2四半期ぶりに増加した。**日銀短観3月調査**では、18年度は全産業で同-3.0%、製造業で同-2.4%、非製造業で同-4.1%と見込まれている。19年度は全産業で同0.0%、製造業で同+0.5%、非製造業で同-0.9%と計画されている。

関西の大企業の経常利益(法人企業統計)



関西企業の経常利益(日銀短観)



(出所) 近畿財務局「法人企業統計調査」  
 (注) 資本金10億円以上の法人(除く金融・保険)

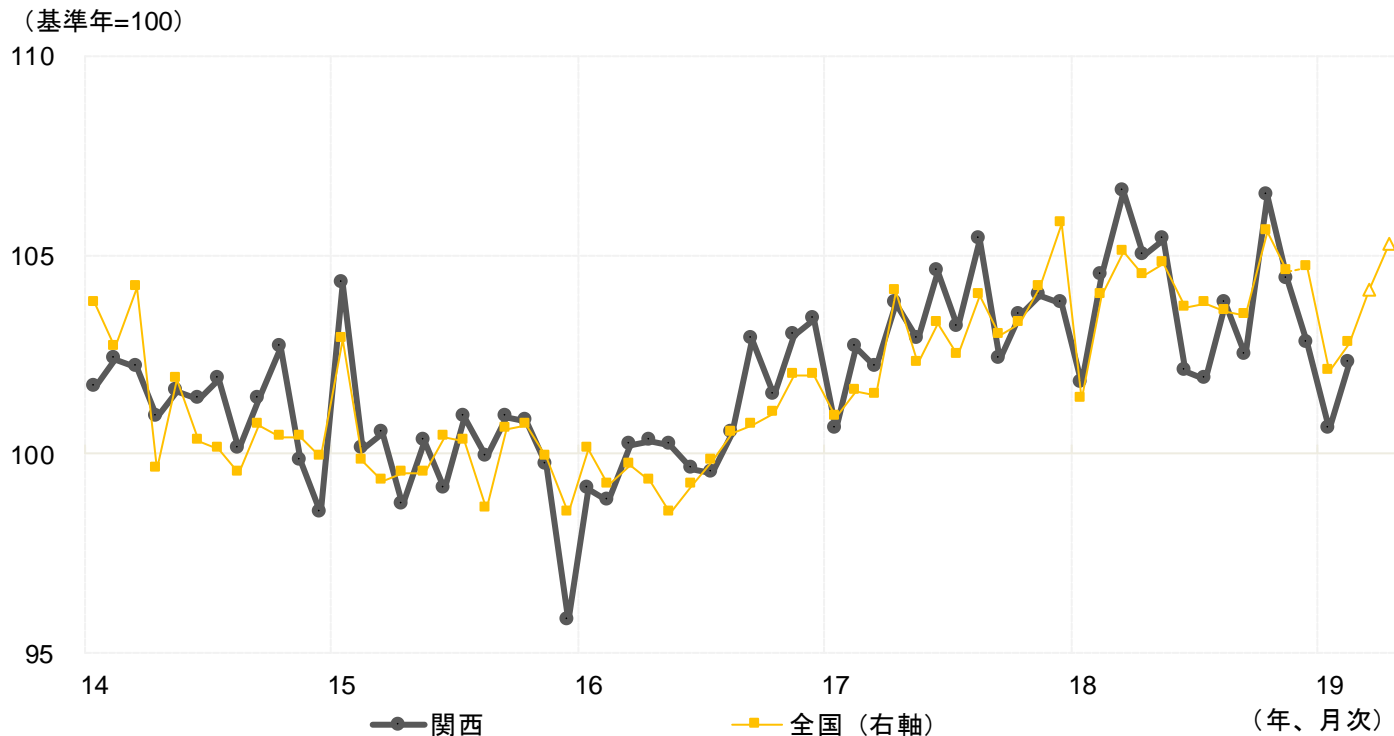
(出所) 日本銀行大阪支店「短観」

## 2. 生産～弱含んでいる(先行き:横ばい)

### ■ 鋳工業生産指数

- 2月の関西の鋳工業生産は、前月比+1.7%と4ヶ月ぶりに上昇した。生産用機械工業、電気・情報通信機械工業が増加した(前年比ではともに減少)。近畿地区の生産は、単月では上昇したものの、このところ弱含んでいる。

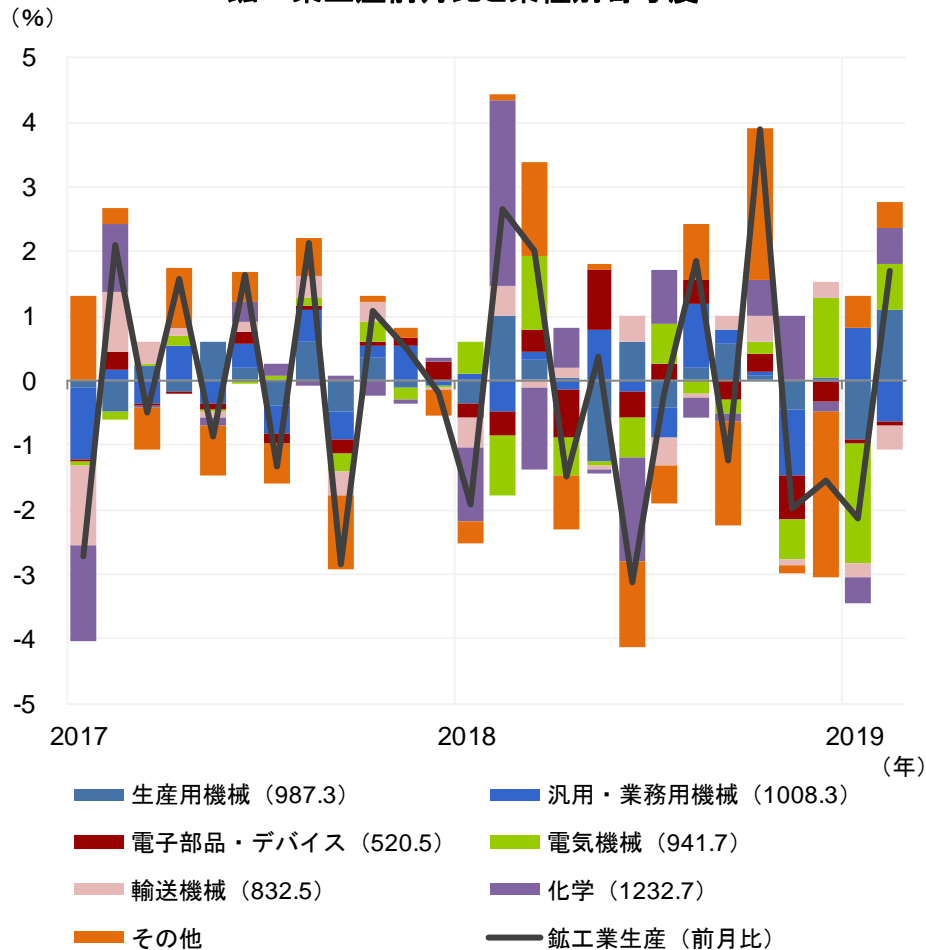
鋳工業生産指数(季節調整値)



(出所) 近畿経済産業局「鋳工業生産動向」、経済産業省「鋳工業指数」  
(注) 生産(全国)の「△」は製造工業生産予測調査結果に基づく予測

## 2. 生産

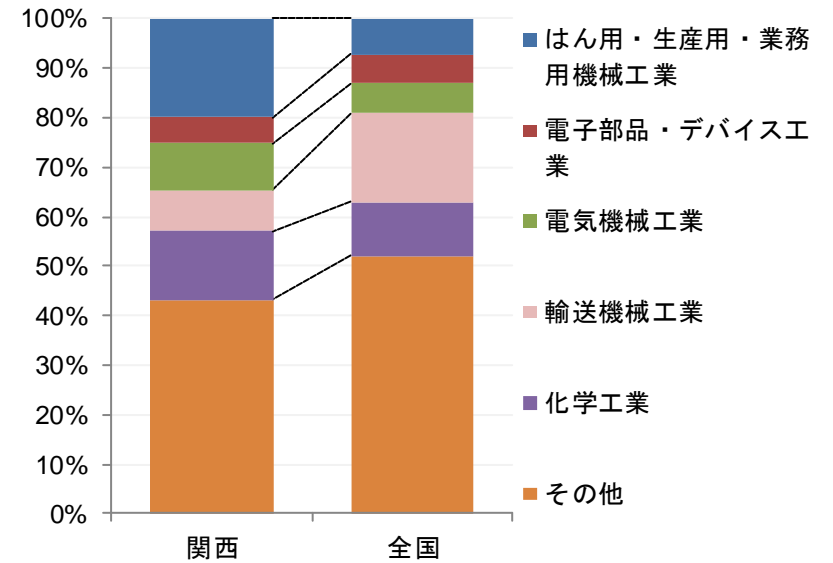
鈹工業生産前月比と業種別寄与度



(出所) 近畿経済産業局「鈹工業生産動向」

(注) 凡例の括弧内の数字は付加価値ウエイト(鈹工業=10,000)

[参考]生産ウエイト(2015年基準)



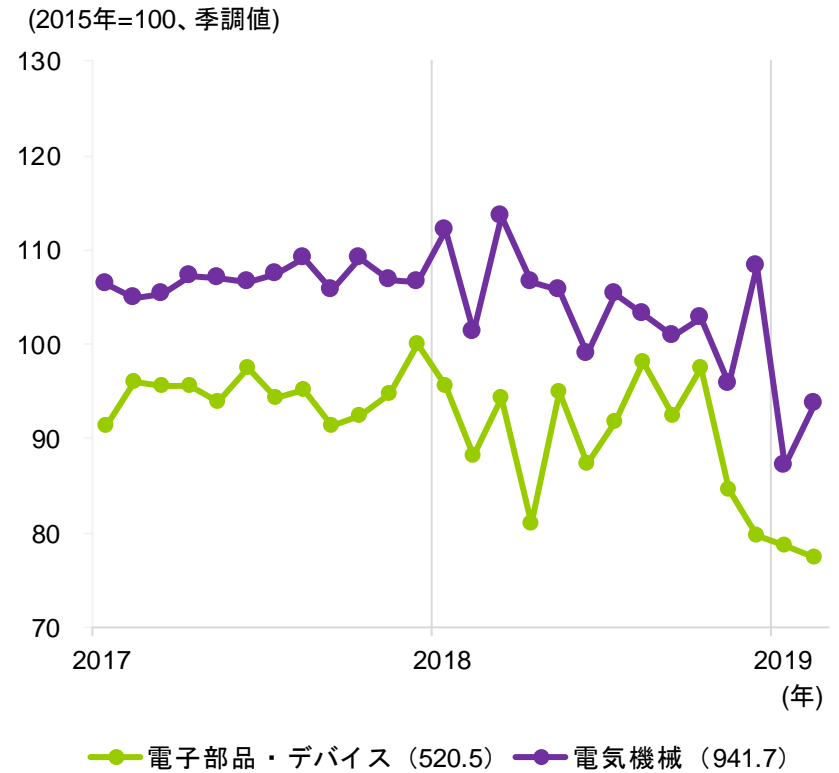
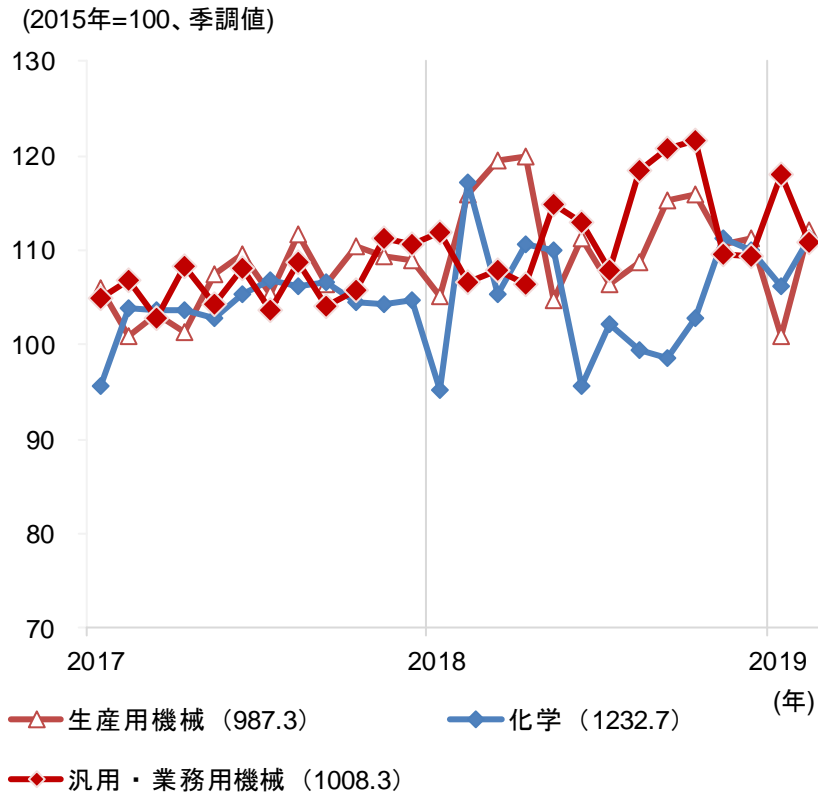
※ 関西は、全国に比べ輸送機械のウエイトが低く、はん用・生産用・業務用機械、化学、電機のウエイトが高い

(出所) 近畿経済産業局「鈹工業生産動向」



## 2. 生産

### 業種別生産

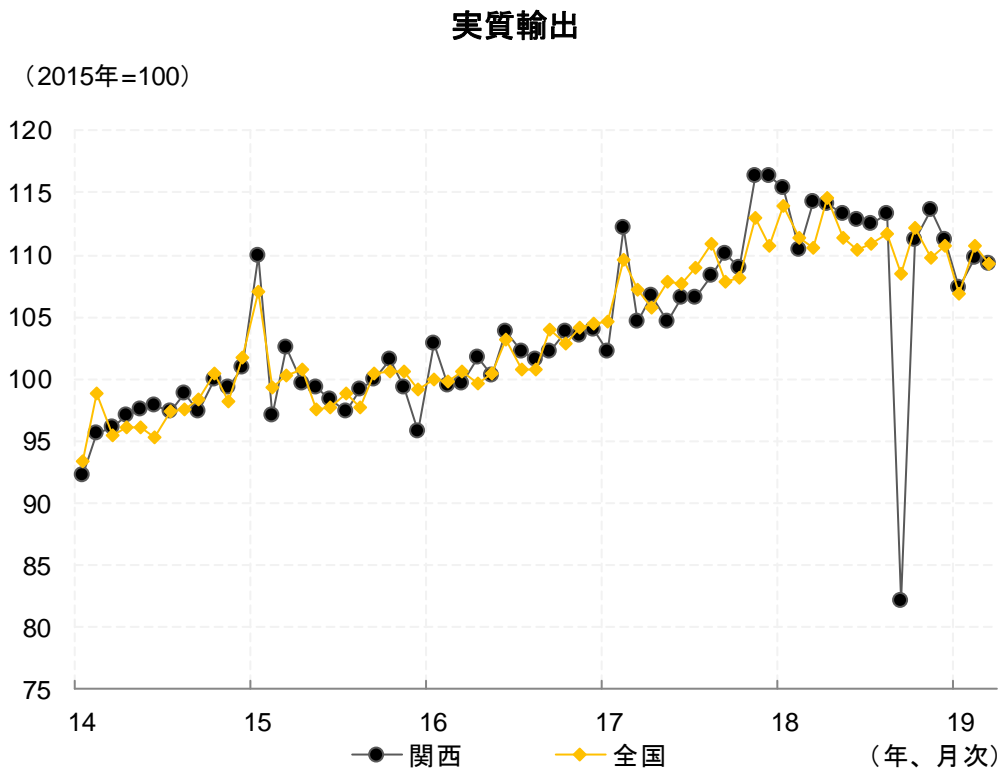


(出所)近畿経済産業局「鈹工業生産動向」

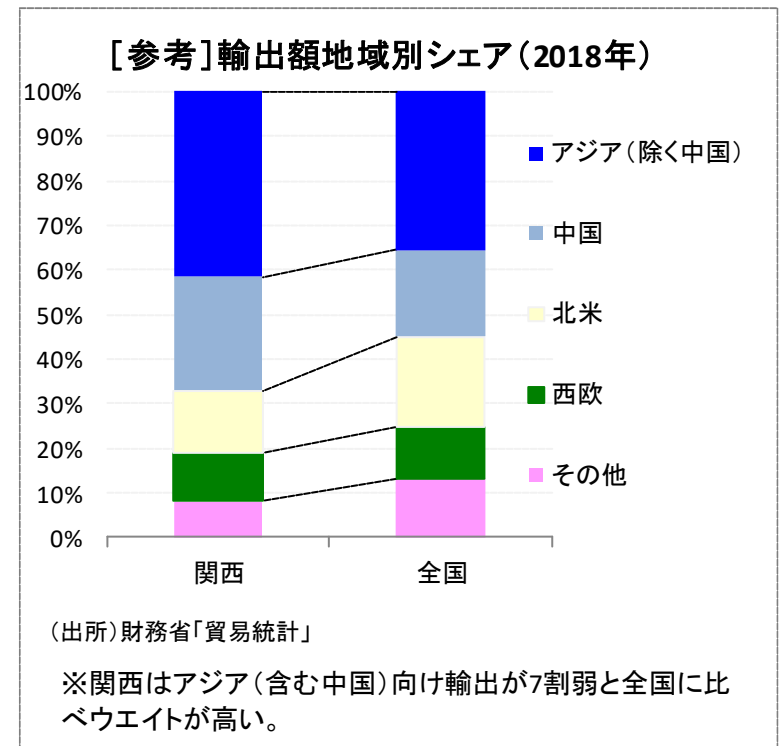
### 3. 輸出 ～弱含んでいる(先行き:横ばい)

#### ■ 実質輸出

- 3月の関西の実質輸出は前月比-0.4%と2ヶ月ぶりに減少した。関西の輸出はこのところ弱含んでいる。



(出所) 日本銀行大阪支店「実質輸出入」

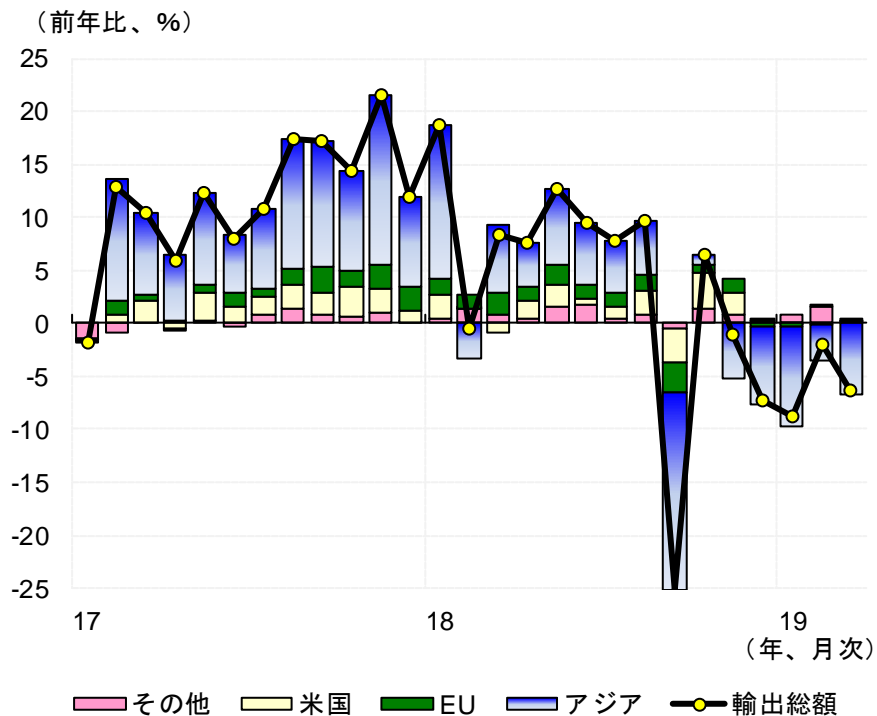


### 3. 輸出

#### ■ 貿易統計: 名目輸出

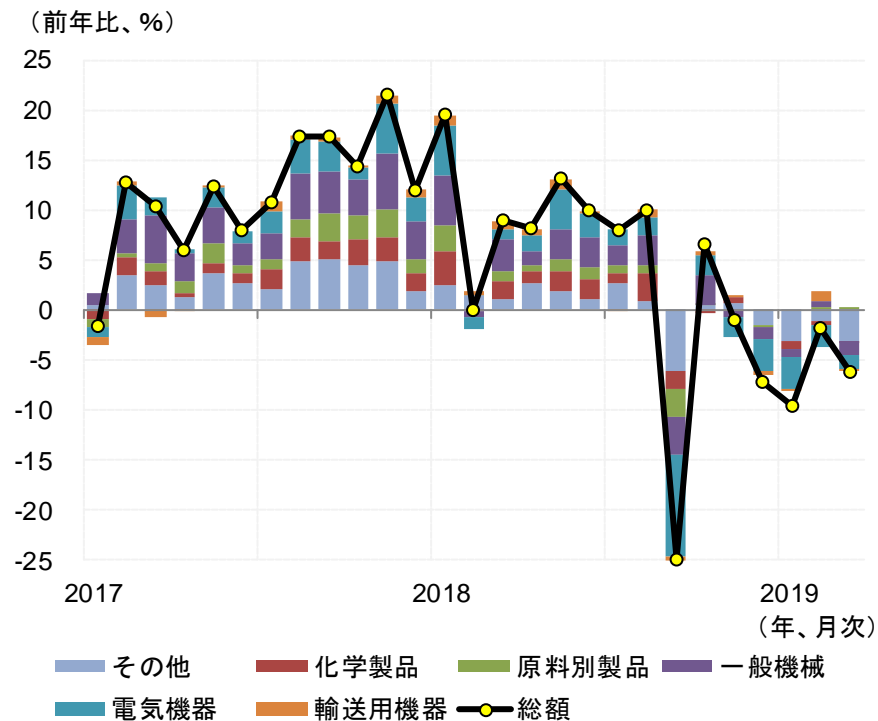
- 3月の名目輸出額は、前年比-6.3%と5ヶ月連続で減少した。地域別では、米国が2ヶ月連続、EUは4ヶ月ぶりに増加したが、中国は7ヶ月連続、アジア(含む中国)は5ヶ月連続で減少した。品目別にみると、コンデンサー(同+28.6%)、建設用・鉱山用機械(同+15.2%)などが増加したが、科学光学機器(同-33.1%)、半導体等電子部品(同-13.5%)などが減少した。

名目輸出(地域別寄与度)



(出所) 大阪税関「近畿圏貿易概況」

名目輸出(品目別寄与度)

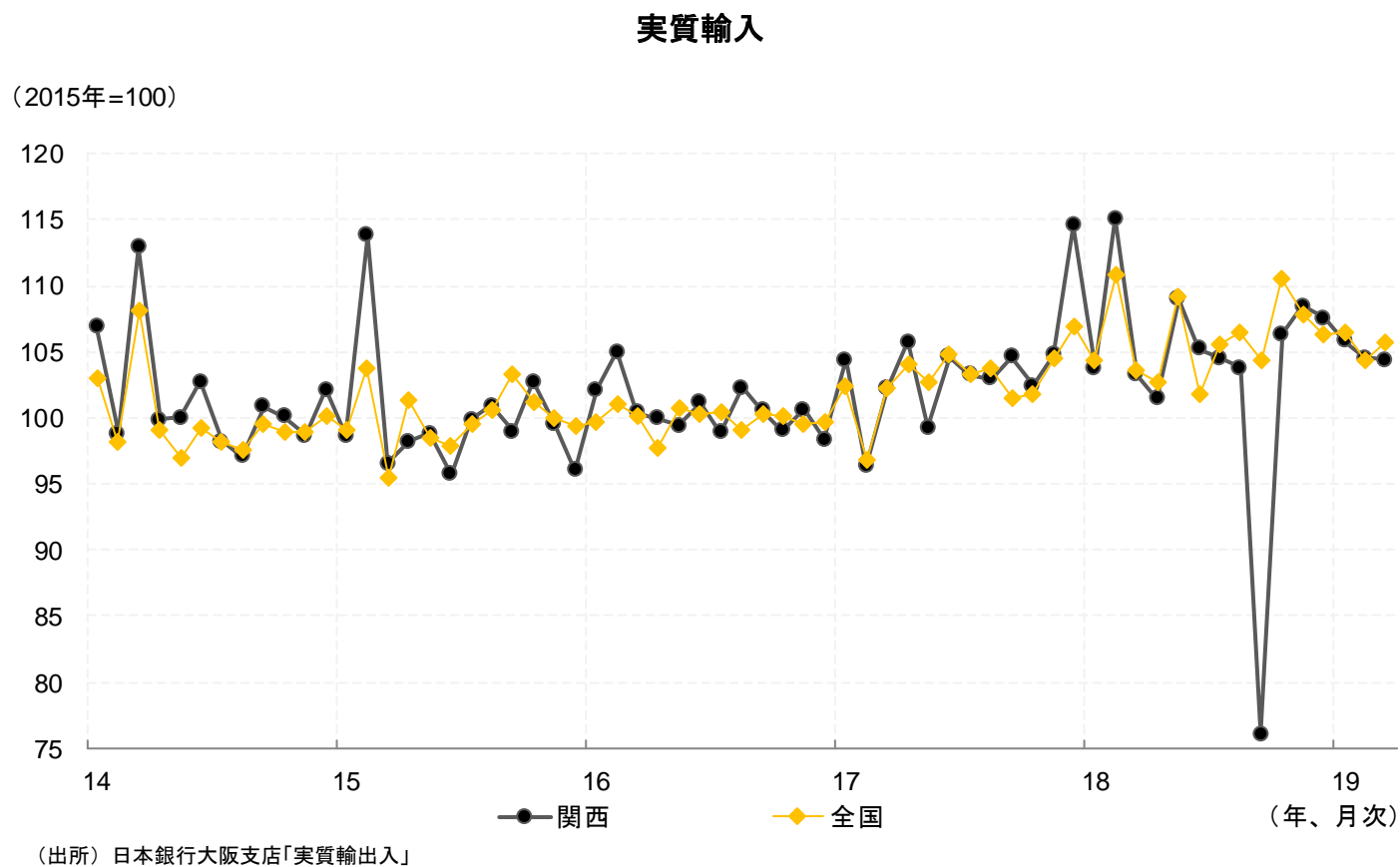


(出所) 大阪税関「近畿圏貿易概況」

## 4. 輸入 ～横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

### ■ 実質輸入

- 3月の関西の実質輸入は前月比-0.1%と4ヶ月連続で減少した。均して見ると横ばいとなっている。



## 5. 設備投資 ～増加している(先行き:増加)

(コメント、グラフ共に前号から変更なし)

### ■ 法人企業統計

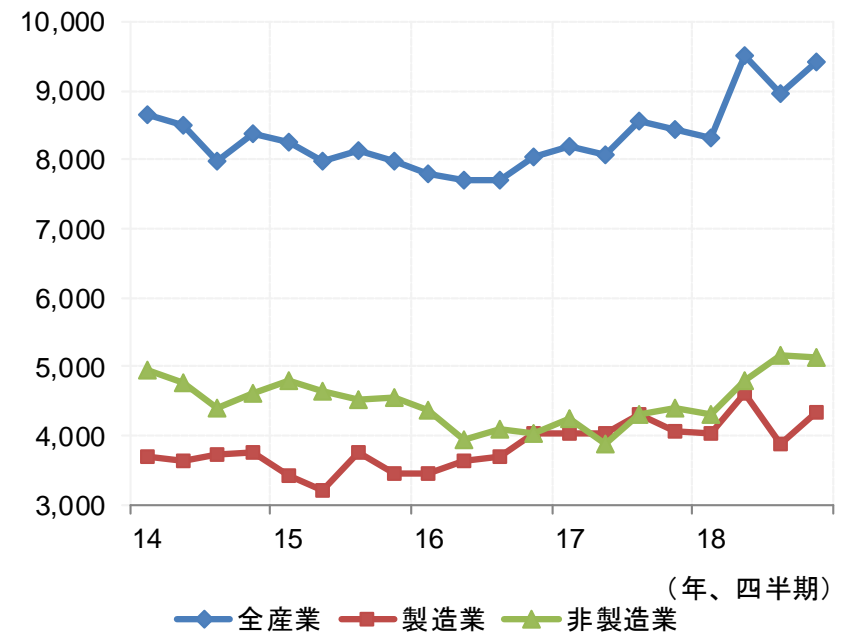
- 法人企業統計によると2018年10～12月期の関西の大企業の設備投資(ソフトウェアを含む)は前年同期比+11.7%と9四半期連続で増加した。季節調整値(MURC試算)の動きを見ても、増加基調で推移している。

設備投資の前年比伸び率(全産業、%)

	関西	全国
17年10-12月	5.3	4.3
18年 1-3月	0.9	3.4
4-6月	18.2	12.8
7-9月	4.3	4.5
<b>10-12月</b>	<b>11.7</b>	<b>5.7</b>

(注) 関西は資本金10億円以上の大企業の単純合計値の伸び率  
(出所) 財務省「法人企業統計調査」

関西の設備投資(ソフトウェアを含む、季節調整値)



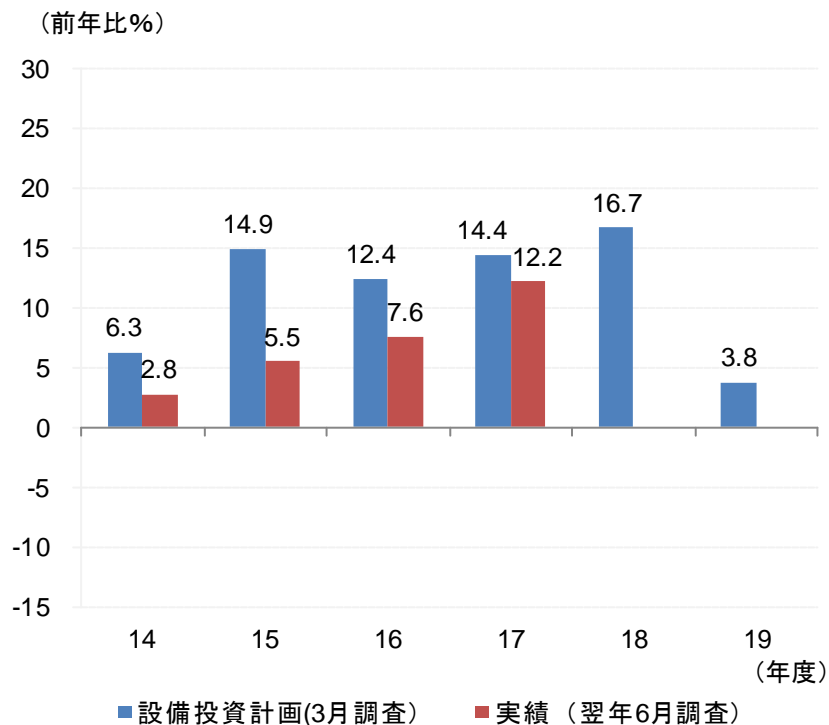
(注) 季調はMURC  
(出所) 財務省「法人企業統計調査」

## 5. 設備投資

### ■ 日銀短観

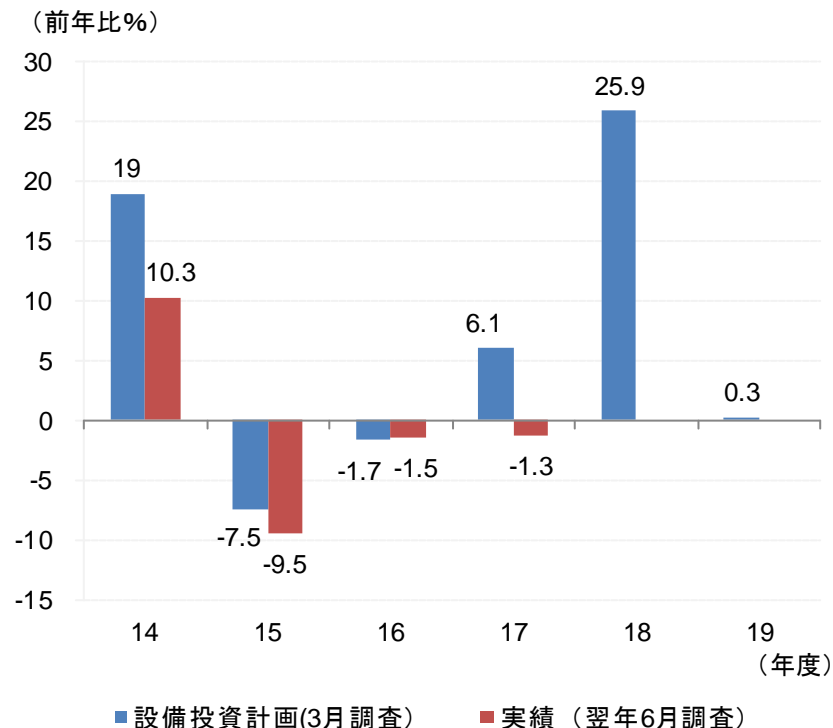
- **日銀短観3月調査**によると、関西の18年度の**設備投資計画**は、全産業で前年比+21.8%(12月調査同+17.4%)と増加が見込まれている。業種別の内訳を見ると、製造業は同+16.7%(同+16.4%)、非製造業は同+25.9%(同+18.2%)と、非製造業が大幅な増加を見込んでいる。19年度については、全産業で同+1.8%、製造業で同+3.8%、非製造業で同+0.3%と計画されている。

設備投資計画と実績(製造業)



(出所) 日本銀行大阪支店「短観」  
(注) 設備投資は含む土地投資額

設備投資計画と実績(非製造業)



(出所) 日本銀行大阪支店「短観」  
(注) 設備投資は含む土地投資額

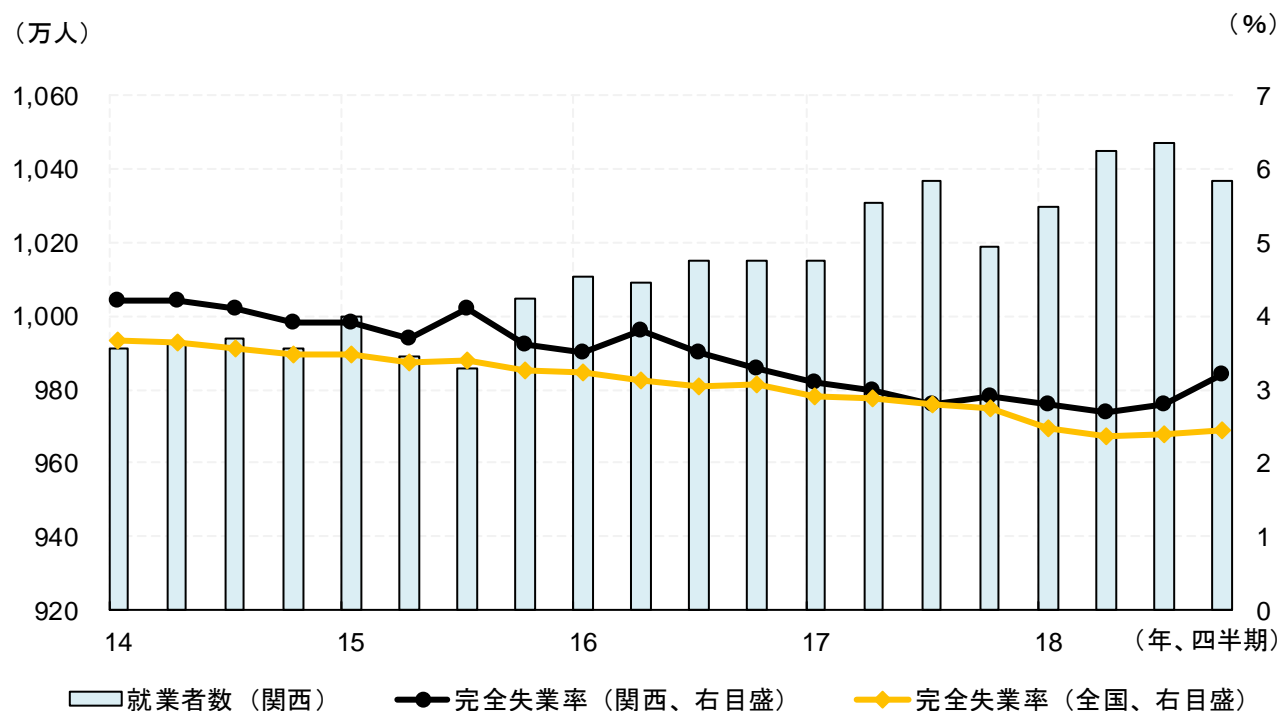
## 6. 雇用 ～改善が一服している（先行き:横ばい）

（コメント、グラフ共に前号から変更なし）

### ■ 完全失業率

- 10-12月期の関西の完全失業率（季節調整値）は前期差+0.4%ポイントの3.2%となった。就業者数（季節調整値）は同10万人減少し、完全失業者数（季節調整値）が同3万人増加した。

失業率と就業者数（季節調整値）

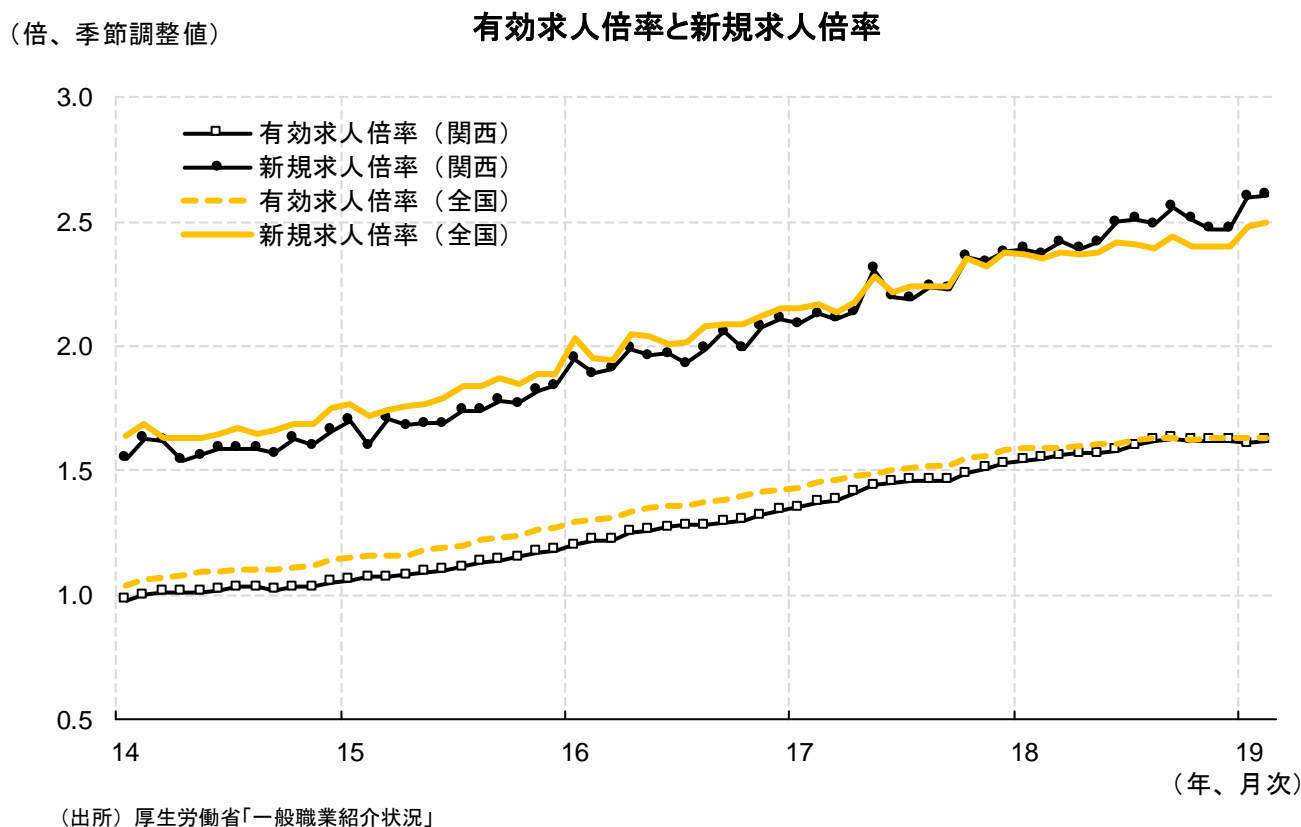


（出所）総務省「労働力調査」

## 6. 雇用

### ■ 有効求人倍率

- 2月の関西の有効求人倍率は1.62倍とほぼ横ばいとなった。有効求人倍率は前月比-0.1%と減少し、有効求職者数も同-0.9%と減少した。有効求人倍率に先行する新規求人倍率は2.61倍とほぼ横ばいとなった。新規求人数は前月比+0.3%と増加し、新規求職申込件数は前月とほぼ同水準となった。







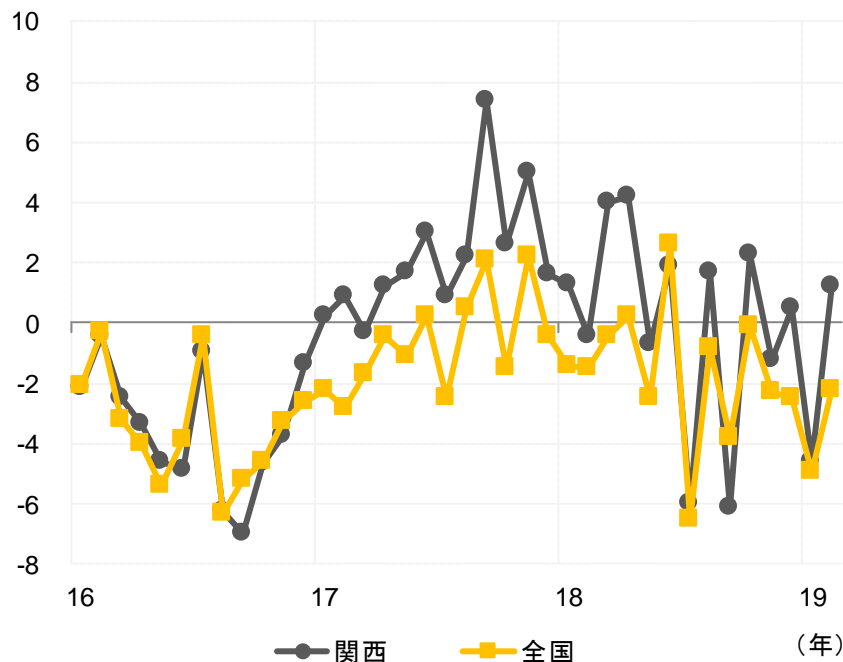
## 8. 個人消費 ～持ち直しの動きがみられる(先行き:緩やかに持ち直し)

### ■ 百貨店・スーパー販売状況

- 2月の関西の百貨店販売額(全店)は、前年比+1.2%と2ヶ月ぶりに増加した。1月に不調であったインバウンドが復調した。一方、スーパー販売額(全店)は同-2.9%と5ヶ月連続で減少した。農産品の相場安などで飲食料品が伸び悩んだ他、冬物衣料が不調であった。

百貨店販売額(全店)

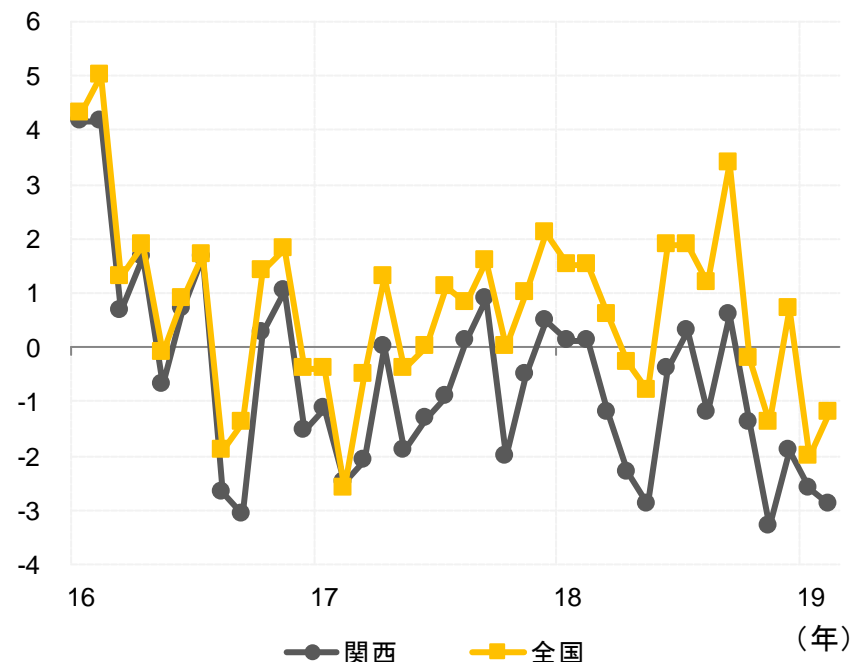
(前年比%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

スーパー販売額(全店)

(前年比%)

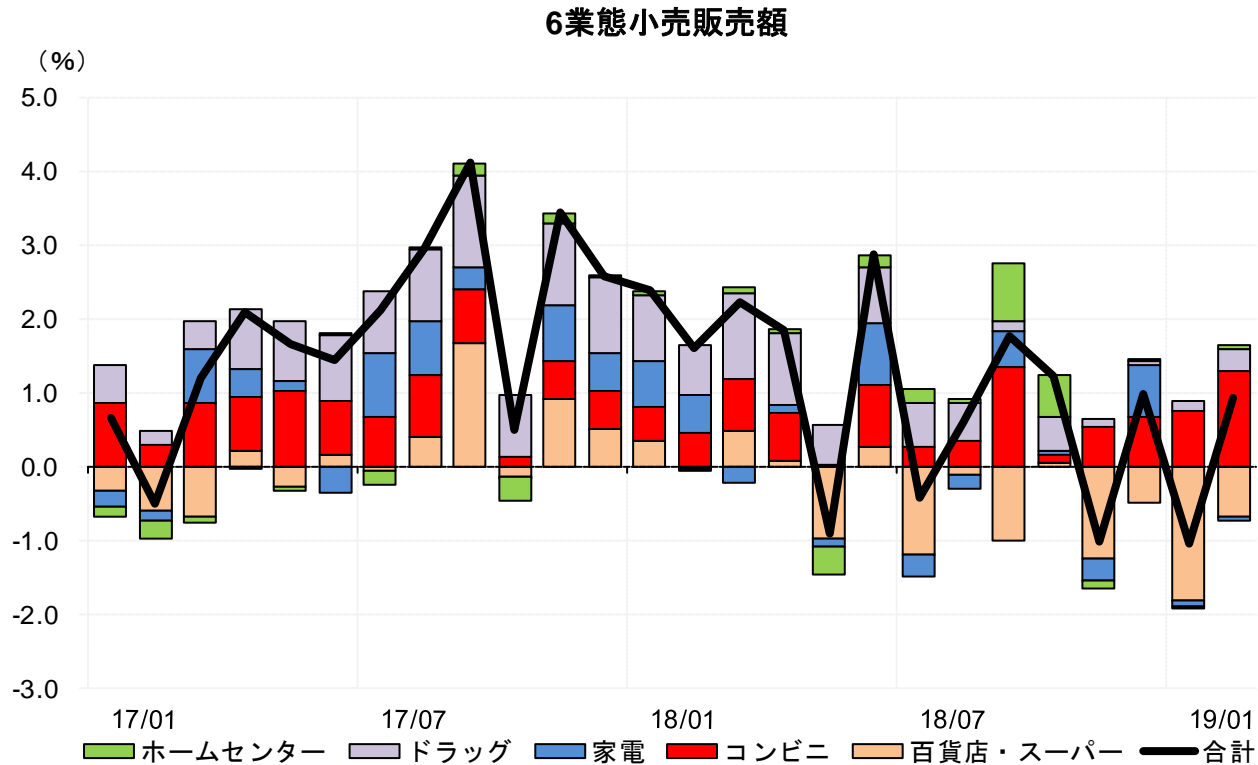


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

## 8. 個人消費

### ■ 商業動態統計

- 2月の商業動態統計調査6業態の販売額の合計は、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンターがプラスに寄与し、前年比+0.9%と2ヶ月ぶりに増加した。



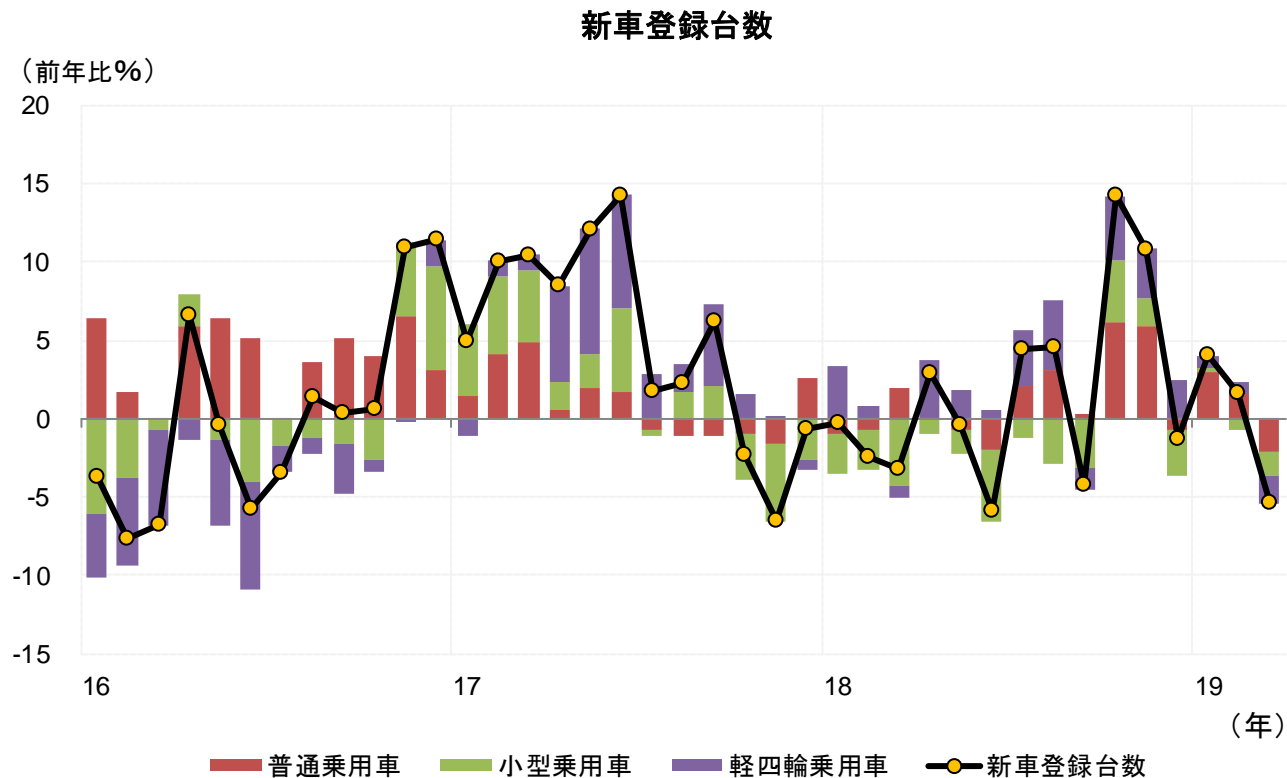
(出所) 経済産業省「商業動態統計」



## 8. 個人消費

### ■ 新車登録台数(乗用車、含む軽)

- 3月の関西の新車登録台数(乗用車、含む軽)は前年比-5.4%と3ヶ月ぶりに減少した。普通車(同-5.2%)は3ヵ月ぶりに、小型車(同-5.7%)は2ヶ月連続、軽自動車(同-5.5%)は6ヶ月ぶりに減少した。



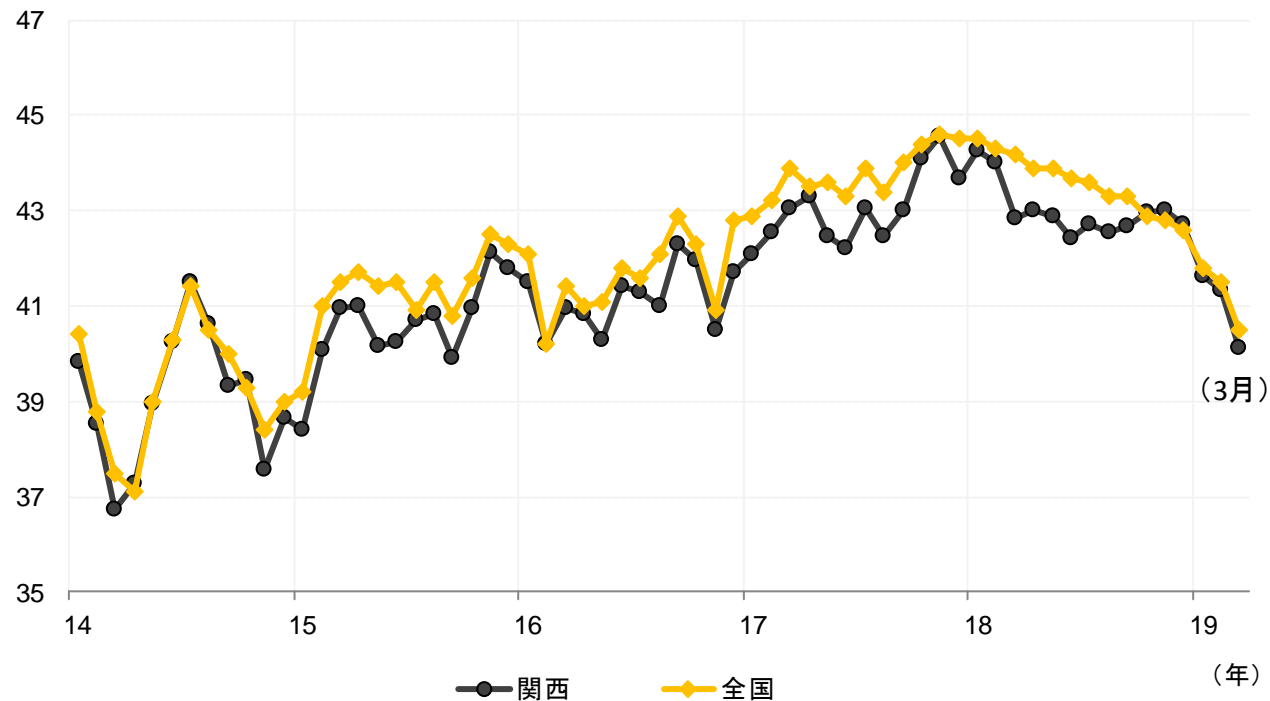
(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会  
(注) 乗用車新規登録・届出台数は2府4県分、含む軽

## 8. 個人消費

### ■ 消費者態度指数

- 消費者マインドを表す消費者態度指数(季節調整値:MURC試算値)は、18年は横ばいで推移した後、19年に入り低下した。

消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)

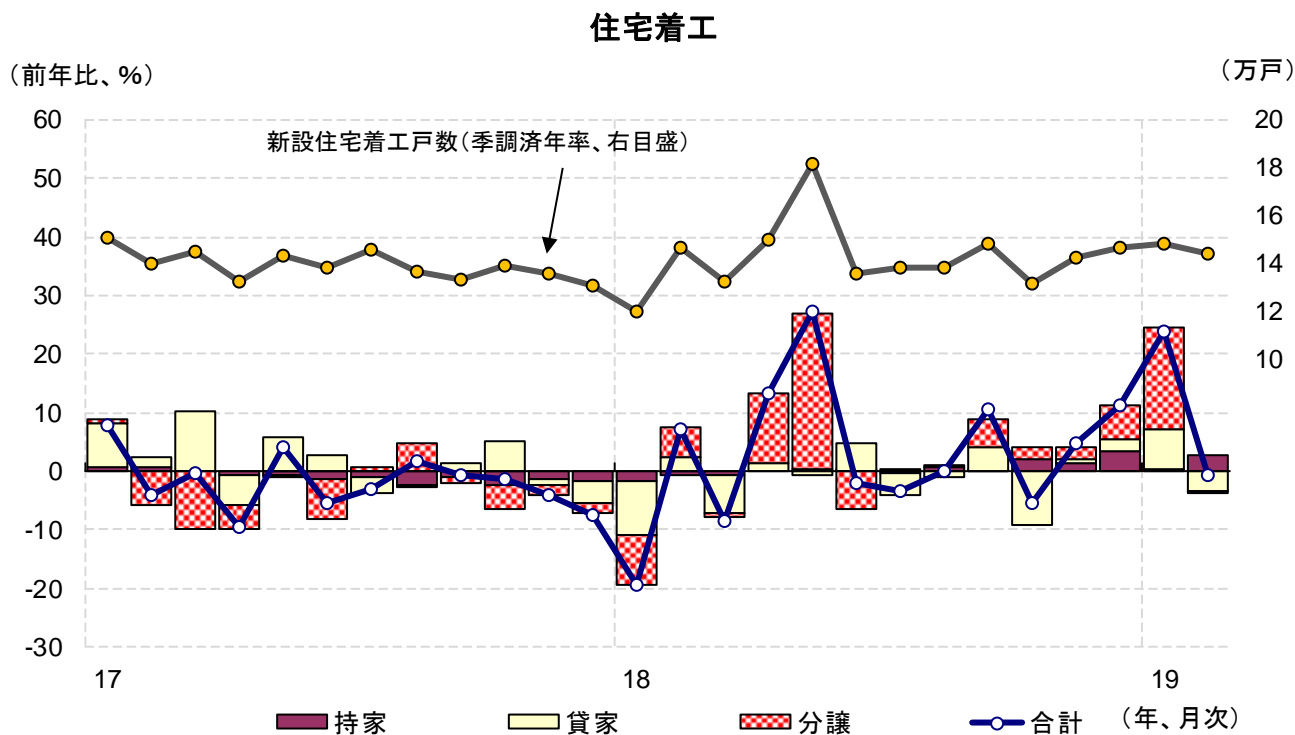


(出所) 内閣府「消費動向調査」  
(注) 関西の季節調整値はMURCの試算値

## 9. 住宅投資 ～横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

### ■ 住宅着工

- 2月の関西の**住宅着工戸数**は、季調済年率(MURC試算)で前月比-2.4%の14.4万戸と4ヶ月ぶりに減少したが、均してみると横ばい圏で推移している。利用関係別で貸家がマイナスに寄与した。また、原数値の前年比では-0.7%の11,310戸と4ヶ月ぶりに減少した。

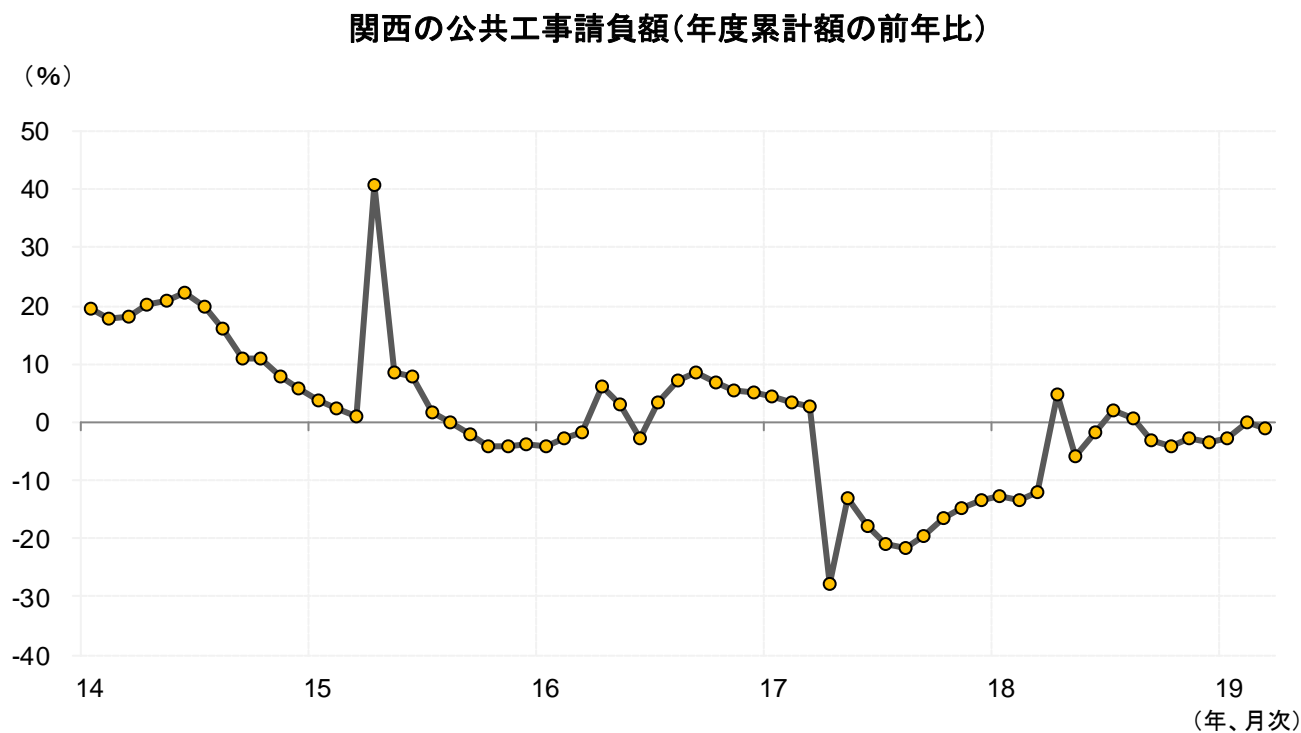


(出所) 国土交通省「建築着工統計」  
 (注) 新設住宅着工戸数の季節調整は当社にて実施

## 10. 公共投資 ～減少している（先行き:横ばい）

### ■ 公共工事請負額

- 3月の関西の公共工事請負額(年度累計額)は、前年比-1.1%と7ヶ月連続で減少した。



(出所) 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)

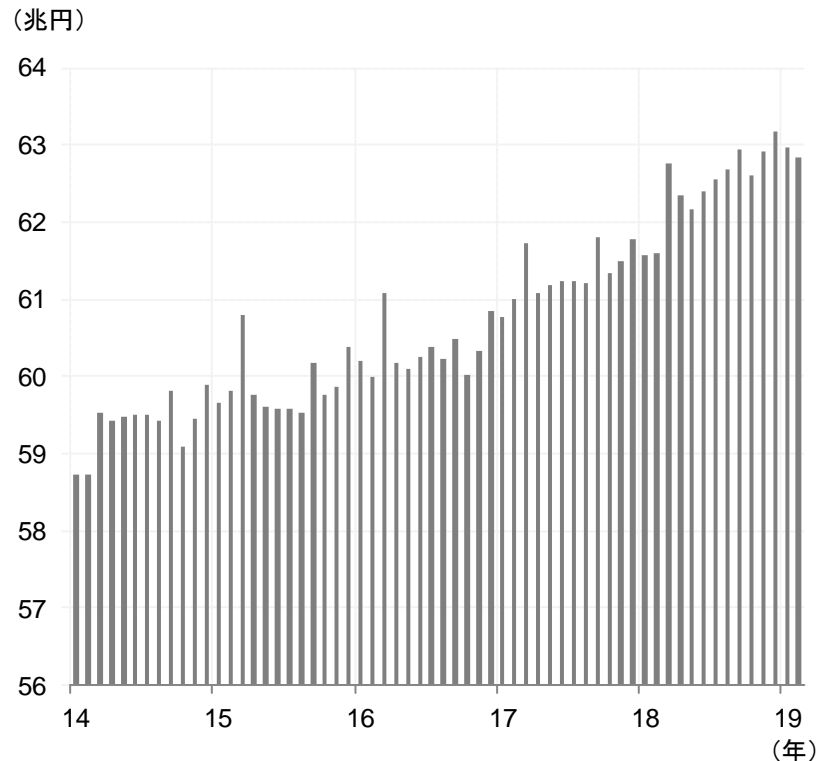


# 11. 貸出 ～ 貸出は増加

## ■ 貸出残高

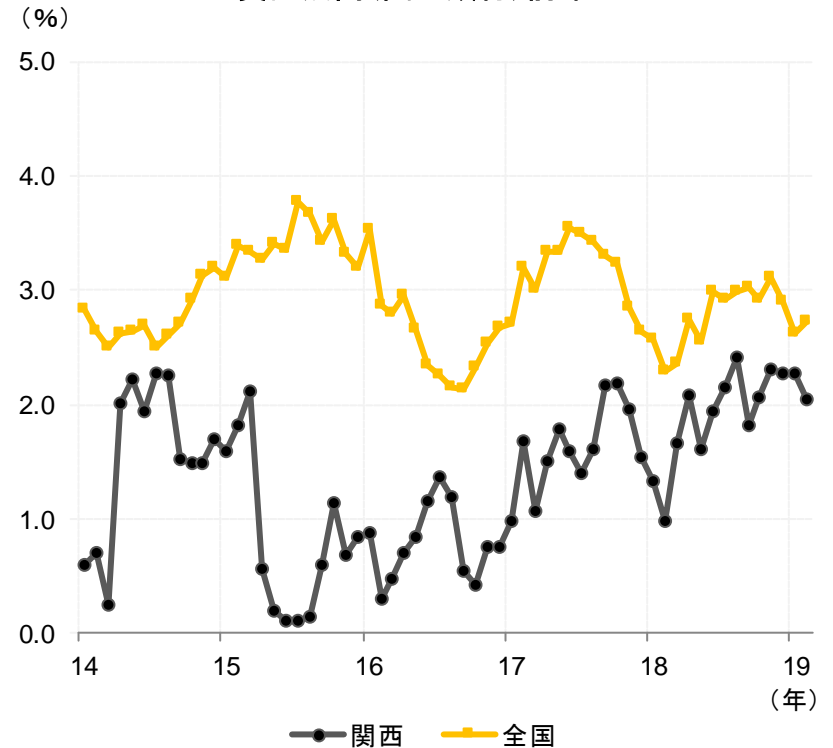
- 関西の2月の貸出残高(国内銀行ベース)は、同+2.0%の62.9兆円となった。日銀大阪支店では「企業向けや住宅ローンの増加などを背景に」貸出が増加しているとみている。

関西の貸出残高(国内銀行)



(出所) 日本銀行

貸出残高(国内銀行)前年比

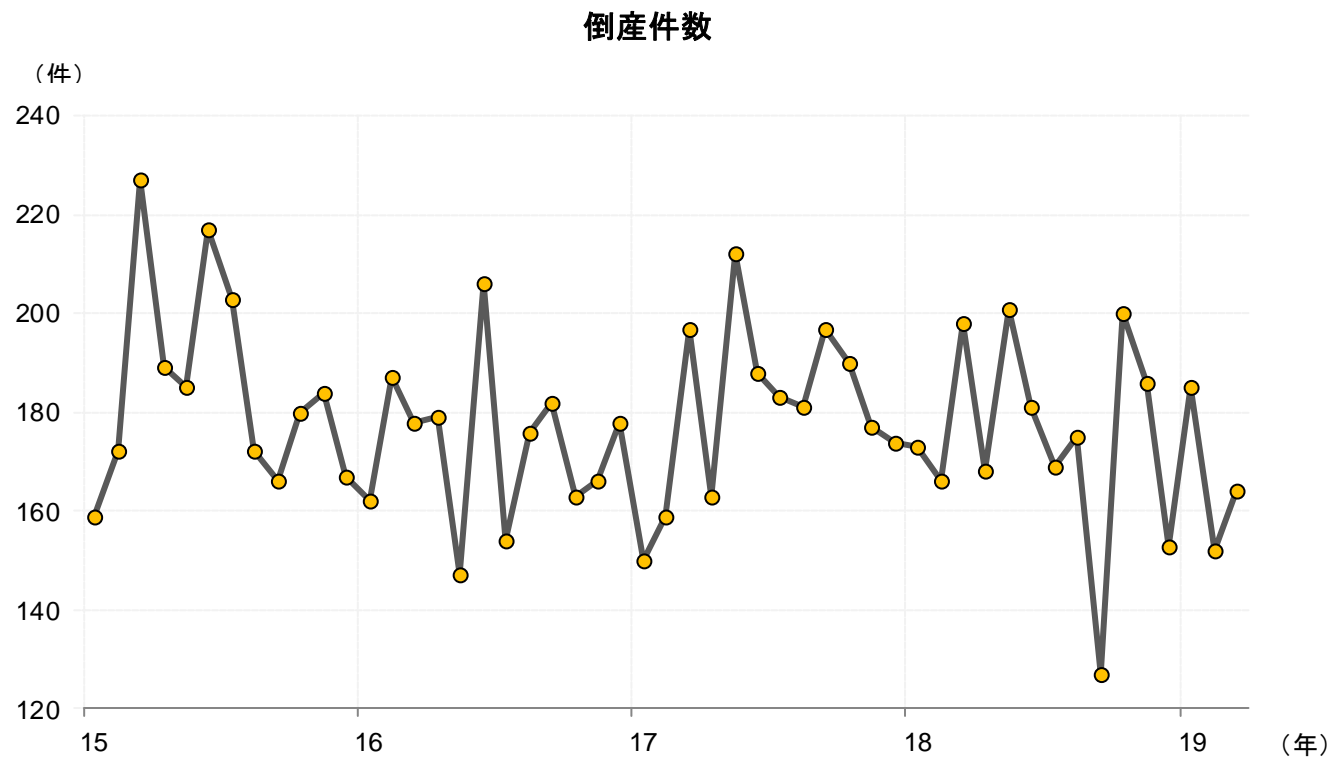


(出所) 日本銀行

## 12. 倒産 ～倒産件数は前年比で減少

### ■ 倒産件数

- 3月の関西の倒産件数は、前年比 $-17.2\%$ の164件（前年同月198件）と2ヶ月連続で減少した。一方、倒産企業の負債総額は同 $+14.3\%$ の298億円と、2ヶ月連続で増加した。兵庫県のレストラン分譲会社2社の大型倒産が負債総額の増加につながった。

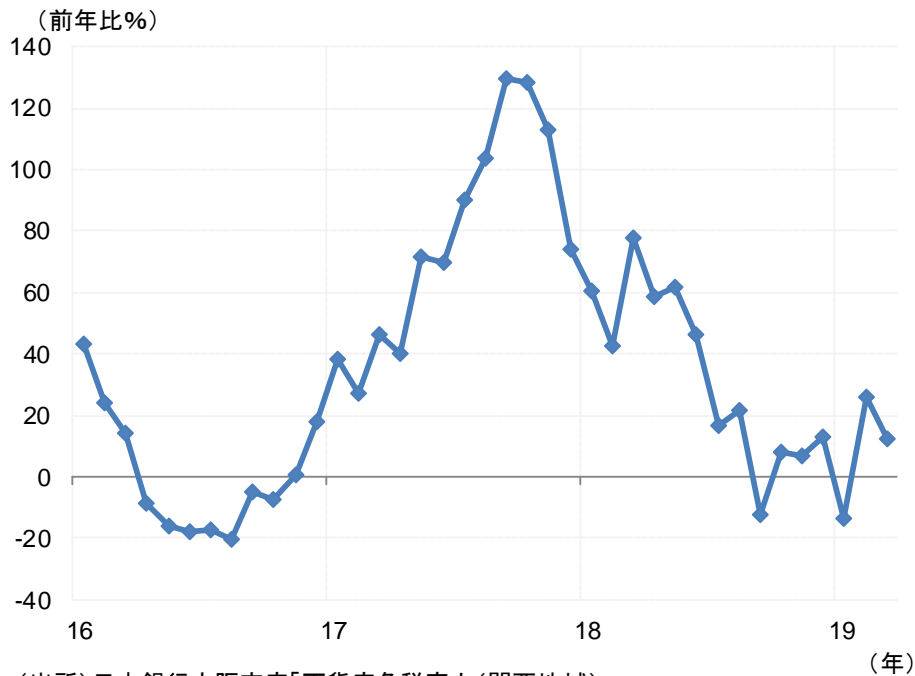


(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

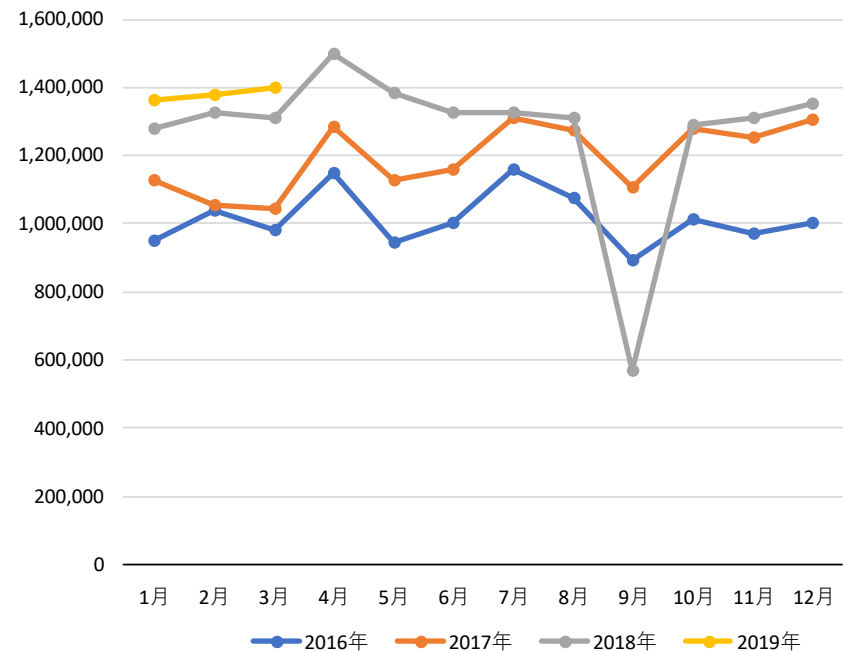
## 13. インバウンド

- 3月の百貨店免税売上(大阪、京都、神戸の主要店)は、前年比+12.2%の132億円と2ヶ月連続で増加した。1月に落ち込んだインバウンド消費であったが、2月以降は盛り返している。
- 3月に関西国際空港を利用した外国人旅客数は、前年比+6.9%の140万人であった。9月に大幅減となった後、前年水準を上回っているが、増加幅は以前に比べると小幅となっている。

百貨店免税売上(大阪、京都、神戸)



(人) 関西国際空港 外国人旅客数



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください